平成24年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

	2011年か		中旧	m	+++5.20	-		指定団体等	の指定状況	AL TANAF	区分	平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	中断山土ル南		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・
	都道府県名	顺.	阜県	市町	村類型	I -	- 1	財政健全化等	×	歳入総額 歳出総額		20, 281, 540		実質収支比率 経常収支比率		9. 7	1 8
				1				財源超過	×	展 工総領 歳入歳出き	ta:	18, 968, 799 1, 312, 741	1, 359, 168	作品収支比率 (※1)		83. 9 (83. 9)	(88
	市町村名	- Th.	禅市	地士六	付税種地	1-	_1	首都	×		E対 最越すべき財源	1, 312, 741		標準財政規模		11. 945. 508	11, 185,
	비삐한스	जार:	# IIJ	地方文	いが作生・地	,	-2	近畿	×	実質収支	K 歴 9 ~ ○ 別 //ボ	1, 154, 843		保华别政况快 財政力指数		0.34	11, 163,
		22年国調(人)	26, 732					中部	0	美貝収又 単年度収3	-	-162, 716		対域 公債費負担比率		18. 9	2
	人口	17年国調(人)	28, 902	-	ate	業構造 (※5)		過疎	0	章 中皮板 5 積立金	•	414, 178		健全化判断比率		10. 9	-
	ДЦ	増減率 (%)	-7. 5	1	Æ	未得退(水切		山振	0	一 ^{復立並} 繰上償還金		414, 170	272, 573			_	
		25. 03. 31 (人)	26, 512		⊠分	22年国調	17年国調	低開発	0	積立金取削		_		連結実質赤字比率		_	
		うち日本人(,		-	27)	1, 259	1,326	指数表選定	0	実質単年度		251, 462	690, 595	実質公債費比率		13. 9	
/A- E	***	24. 03. 31 (人)	26, 858	第	[1次	9. 5	8. 9	II M ALEX		XX++10		201, 402	000, 000	将来負担比率		49. 6	
往月	基本台帳人口 (※7)	うち日本人(4, 412	5, 508			基準財政収	7 入額	2, 865, 364	2 923 686	資金不足比率(※4)		10. 0	
		増減率 (%)	-1.3	第	52次	33. 2	37. 1			基準財政需	**	8, 643, 688	8, 442, 631	XIII XXXII			
		うち日本人(9		1		7, 607	8.006			標準税収力		3, 670, 145	3, 719, 159				
	面積(km³)	7 3 11 17 17	792, 31	第	第3次	57. 3	53. 9				5当一般財源等	9, 732, 487	9, 735, 130				
	密度(人/k㎡)		34		l					歳入一般則		13, 225, 913	13, 334, 826				
	帯数(世帯)		8, 770							1		, ,					
		ı		職員	員の状況					1							
			1人あたり平均		1		職員数	給料月額	1人あたり平均	1							
	区分	定数	A料月額(百円)			区分	(人)	(百円)	名料月額(百円)	地方債現在	高	24, 029, 672	23, 319, 679				
-	市区町村長	1	7, 055		一般職員	l	320	942, 080	2, 944	うち公的	資金	13, 087, 209	13, 666, 997				
特	副市区町村長	1	6, 120	— AG	うち消	消防職員	76	198, 892	2, 617	債務負担行	· 方為額(支出予定額)	331, 512	2, 794, 595				
別	教育長	1	4, 950	戦	うち技	乾能労務職員	18	47, 646	2, 647	収益事業収	7 入	-	-				
職 等	議会議長	1	3, 700	員	教育公務	員	-	-			金現在高	400, 000	400, 000				
ŀ	議会副議長	1	3, 000	₹	臨時職員	l		-		-	財政調整基金	4, 796, 054	3, 681, 876				
ŀ	議会議員	15	2, 700		合計		320	942, 080	2, 944	積立金 現在高	減債基金	159, 689	159, 285				
ŀ					ラスパイ	レス指数(※6)		100. 5	(92. 9)) %TEB	その他特定目的基金	4, 613, 902	4, 411, 828				
én.	計等の一覧		± 44	会計の一	能			公営企業(法適)	O. E.	8	公営企業(法非適)の一覧	ie.	関係する一部事務組	^ /r = E	11. ± 1. ± 1. **-	三セクター等一覧	
項番		会計名	尹未 項番		見	会計名		公呂正未 (法國) 項番	の一 _見 会計名			^見 陰計名	関係9の一部争物権 項番	組合等名	地力公社・第2 項番	ニセクター寺一見 団体名	(%
(1)	一般会計		(4)	国民健康	康保険特別会	会計 (事業勘定)		(10) 水道事業会調	+		(12) 簡易水道事業特別会計	t	(18) 岐阜県市町村退	職手当組合	(25) 飛騨市土:	地開発公社	
(2)	青報施設特別会計		(5)	国民健康	F保险特别会	会計(直営診療施	(設勘定)	(11) 国民健康保障	金病院事業会計		(13) 公共下水道事業特別会	±#+	(19) 岐阜県市町村会	館組合	(26) 株式会社:	季古里	
	給食費特別会計				命者医療特別			(,,,			(14) 特定環境保全公共下水		(20) 飛騨農業共済事		(27) 株式会社:		
(0)	NE REIGHT AN				食特別会計						(15) 農村下水道事業特別会			ンター利用組合(一般会計分)	(28) 株式会社		
															(28) 株式芸任:	飛騨まんが土国	
					食特別会計						(16) 個別排水処理施設事業			ンター利用組合(特別会計分)			
			(9)	駐車場事	事業特別会計	+					(17) 下水道汚泥処理事業特	別会計	(23) 岐阜県後期高齢	者医療広域連合(一般会計分)			
													(24) 岐阜県後期高齢	者医療広域連合 (特別会計分)			

⁽注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補準債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3:地方公共団体が損失補準等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。
※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5:産業構造の比率は、分中を30歳人口数数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6:ラスパイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定技術法による措置が無いとした場合の値である。
※6:ラスパイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与の定定特例法による措置が無いとした場合の値である。

^{※7:}住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登載人口については、外国人住民を含む。

(1) 普诵会計の状況(市町村)

	状況 (単位 千円				地方税の				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過	課税分
地方税	3, 503, 958	17. 3	3, 503, 958	30. 2	普通税	3, 481, 462	99.4		354, 718
地方譲与税	169, 943	0.8	169, 943	1.5	法定普通税	3, 481, 462	99.4		354, 718
利子割交付金	8, 002	0.0	8, 002	0.1	市町村民税	1, 227, 335	35.0		-
配当割交付金	5, 984	0.0	5, 984	0.1	個人均等割	39, 750	1.1		-
株式等譲渡所得割交付金	1, 409	0.0	1, 409	0.0	所得割	1, 009, 026	28. 8		-
地方消費税交付金	248, 914	1. 2	248, 914	2. 1	法人均等割	71, 090	2. 0		-
ゴルフ場利用税交付金	4, 997	0.0	4, 997	0.0	法人税割	107, 469	3.1		-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2, 028, 192	57. 9		354, 718
自動車取得税交付金	57, 358	0.3	57, 358	0.5	うち純固定資産税	2, 023, 587	57. 8		354, 718
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	66, 573	1.9		-
地方特例交付金	10, 325	0.1	10, 325	0.1	市町村たばこ税	159, 362	4. 5		-
地方交付税	8, 324, 376	41.0	7, 518, 163	64.8	鉱産税	_	-		-
普通交付税	7, 518, 163	37. 1	7, 518, 163	64.8	特別土地保有税	-			-
特別交付税	806, 212	4.0		-	法定外普通税	-	-		-
震災復興特別交付税	1	0.0	-	-	目的税	22, 496	0.6		-
(一般財源計)	12, 335, 266	60.8	11, 529, 053	99.3	法定目的税	22, 496	0.6		-
交通安全対策特別交付金	3, 435	0.0	3, 435	0.0	入湯税	22, 496	0.6		-
分担金・負担金	161, 519	0.8	_	-	事業所税	_	-		-
使用料	340, 151	1.7	33, 392	0.3	都市計画税	-			-
手数料	82, 498	0.4	_	-	水利地益税等	-			-
国庫支出金	1, 646, 492	8. 1	-	-	法定外目的税	-			-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	· · · -	-	-	-	旧法による税	-	-		
都道府県支出金	994, 716	4. 9	-	-	合計	3, 503, 958	100.0		354, 718
財産収入	87, 057	0.4	17, 081	0.1		, ,			
寄附金	6, 389	0.0	· -	-	区分	平成24年度		平成23	3年度
繰入金	398, 586	2. 0	22, 927	0. 2	## · 合計	99. 5	97. 7	99. 4	97. 6
繰越金	659, 168	3.3	_	-	徴収率 現 🚉 → 🖦 → 💥	99. 5	97. 5	99.3	97. 3
諸収入	524, 663	2. 6	466	0.0	(%) 年·計 中町村氏税 純固定資産税	99. 4	97. 6	99.3	97. 6
地方債	3, 041, 600	15. 0	_	_		•			
うち減収補塡債(特例分)		-	-	-	公営事業等への繰出	国民健康	東保険事業	会計の状	況
うち臨時財政対策債	_	-	-	-	合計 2,337,940				168. 237
歳入合計	20, 281, 540	100.0	11, 606, 354	100.0		再差引収支			142, 161

20, 281, 540 100. 0 11, 606, 35	100.0	合計 下水道		実質収支 再差引収支	168, 237 142, 161
		病院 簡易水道 観光施設 国民健康保険 その他	218, 721 78, 600 3, 973 186, 918 849, 928	加入世帯数(世帯) 被保険者数(人) 被保険者 【保険税(料)収入額 国庫支出金 1人当り 【保険給付費	3, 996 6, 855 79 75 296

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

議会費 138,796 0.7 226 13 総務費 2,267,386 12.0 129,731 1,72 民生費 3,739,452 19.7 570,211 2,05 衛生費 2,826,822 14.9 1,614,158 1,07 労働費 48,325 0.3 - 農林水産業費 1,188,030 6.3 382,666 68 商工費 736,051 3.9 48,790 46 土木費 2,891,275 15.2 1,661,246 1,63 消防費 602,251 3.2 11,870 55 教育費 1,885,172 9.9 651,944 1,06 災害復旧費 40,799 0.2 -	才源等 3, 796 3, 395 2, 757 0, 347 1, 117 6, 685 0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796 4, 934
接換数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	8, 796 3, 395 2, 757 0, 347 1, 117 6, 685 0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
議会費 138,796 0.7 226 138 138 248 2.267,386 12.0 129,731 1.77 570,211 2.05 衛生費 3,739,452 19.7 570,211 2.05 衛生費 2,826,822 14.9 1,614,158 1.07 分働費 48,325 0.3 382,666 68	8, 796 3, 395 2, 757 0, 347 1, 117 6, 685 0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
株務費	3, 395 2, 757 0, 347 1, 117 6, 685 0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
民生費 3,739,452 19.7 570,211 2,05 衛生費 2,826,822 14.9 1,614,158 1,07 労働費 48,325 0.3 382,666 68 商工費 736,051 3.9 48,790 46 土木費 2,891,275 15.2 1,661,246 1,63 消防費 602,251 3.2 11,870 55 教育費 1,885,172 9.9 651,944 1,06 災害復旧費 40,799 0.2 - 2,50 諸支出費 - - - 2,50 諸支出費 18,968,799 100.0 5,070,842 11,91 大寶額 構成比 充当一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常収 養務的経費計 6,520,482 34.4 5,423,141 5,421,786 之方ち職員給 1,571,972 8.3 1,489,577 - 扶助費 1,534,819 8.1 638,857 638,506 公債費 2,604,440 13,7 2,504,934 2,504,934 公債費	2, 757 0, 347 1, 117 6, 685 0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
衛生費	0, 347 1, 117 6, 685 0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
労働費 農林水産業費 前工費 土木費 大養育費 (1,188,030 力 (1,000) (1,000	1, 117 6, 685 0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
農林水産業費	6, 685 0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
Range	0, 143 0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
上木費	0, 842 7, 409 0, 951 5, 796
清防費	7, 409 0, 951 5, 796
数育費	0, 951 5, 796
災害復旧費 公債費 請支出費 前年度繰上充用金 歳出合計 40,799 2,604,440 13.7 0.2 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	5, 796
公債費 諸支出費 前年度繰上充用金 歳出合計 2,604,440 - 18,968,799 133.7 - 100.0	
諸支出費	1, 934
前年度繰上充用金 18,968,799	
大学報報	-
性質別蔵出の状況 (単位 千円・%)	-
区分 決算額 構成比 充当一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常収 養務的経費計 6,520,482 34.4 5,423,141 人件費 2,381,223 12.6 2,279,350 2,278,346 うち職員給 1,571,972 8.3 1,489,577 扶助費 1,534,819 8.1 638,857 638,506 公債費 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,934 戸元利償還金 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,934 ウラカニ金 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,934 戸っち元金 2,331,607 12.3 2,245,808 訳 うち利子 272,833 1.4 259,126 259,126 一時借入金利子 7,336,676 38.7 5,548,307 4,310,701	3, 172
養務的経費計 6,520,482 34.4 5,423,141 5,421,786 人件費 2,381,223 12.6 2,279,350 2,278,346 うち職員給 1,571,972 8.3 1,489,577 - 扶助費 1,534,819 8.1 638,857 638,506 公債費 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,93	
人件費 2,381,223 12.6 2,279,350 2,278,346 うち職員給 1,571,972 8.3 1,489,577 - 扶助費 1,534,819 8.1 638,857 638,506 公債費 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,934 元利償還金 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,934 うち元金 2,31,607 12.3 2,245,808 2,245,808 京大利子 272,833 1.4 259,126 一時借入金利子 7,336,676 38.7 5,548,307 4,310,701	支比率
フラカ 職員給	46. 7
扶助費	19.6
公債費 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,934 元利償還金 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,934 内 うち元金 2,31,607 12.3 2,245,808 2,245,808 京 ち利子 272,833 1.4 259,126 259,126 一時借入金利子 7,336,676 38.7 5,548,307 4,310,701	-
元利償還金 2,604,440 13.7 2,504,934 2,504,934 5 5元金 2,331,607 12.3 2,245,808 2,245,808 5 1.4 259,126 259,126 259,126 7,336,676 38.7 5,548,307 4,310,701	5. 5
内 うち元金 2,331,607 12.3 2,245,808 2,245,808 歌 うち利子 272,833 1.4 259,126 259,126 一 - - - - その他の経費 7,336,676 38.7 5,548,307 4,310,701	21.6
取 うち利子 272,833 1.4 259,126 259,126 - - - - - - -	21.6
- 一時借入金利子	19.3
その他の経費 7,336,676 38.7 5,548,307 4,310,701	2. 2
	-
物件典	37. 1
1½	13.6
維持補修費 384,941 2.0 342,789 270,828	2. 3
補助費等	6. 1
うち一部事務組合負担金 142,826 0.8 142,826 142,800 142,8	1. 2
繰出金 2,080,152 11.0 1,960,188 1,755,692	15. 1
積立金	-
投資・出資金・貸付金 299,027 1.6 27 -	-
前年度繰上充用金 – – – – – – – – – – – – – – – – – – –	
投資的経費計	
うち人件費 126,155 0.7 126,155	
普通建設事業費 5,070,842 26.7 915,928	
内 うち補助 2,637,506 13.9 107,498	
音 うち単独 2,300,954 12.1 746,767	
次音復旧事業質	

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

双云前	テの財政状況(単位:日万円)								
	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会記	it	20,121	18,816	1,304	1,146	376	24,117	基金繰入351百万円	
2 情報施記	设特別会計	128	120	8	8	5	-		
3 給食費物	特別会計	43	42	0	0	-	-		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									実質
計 一般会計	計等(純計)	20,287	18,974	1,313	1,155		24,117		

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計(事業勘定)	3,026	2,858	168	168	130	-	-	-	基金繰入22百万円
2 国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)	199	194	5	5	79	24	9	-	
3 後期高齢者医療特別会計	347	346	2	2	84	-	-	-	
4 介護保険特別会計(保険勘定)	2,851	2,758	94	94	379	-	-	-	
5 介護保険特別会計(事業勘定)	36	35	1	1	24	-	-	-	
6 駐車場事業特別会計	10	8	2	2	-	-	-	-	
7 水道事業会計	296	190	106	1,001	4	414	9	-	法適用企業
8 国民健康保険病院事業会計	1,544	1,598	▲ 54	1,681	185	855	483	-	法適用企業
9 簡易水道事業特別会計	213	211	3	3	79	948	623	-	法非適用企業
10 公共下水道事業特別会計	1,020	988	29	29	509	8,367	7,991	-	法非进币企業 基金線入20百万円
11 特定環境保全公共下水道事業特別会計	168	166	2	2	143	1,493	1,458	-	法非適用企業
12 農村下水道事業特別会計	320	315	5	5	246	1,987	1,981	-	法非適用企業
13 個別排水処理施設事業特別会計	23	22	1	1	15	74	66	-	法非进附企業 基金額入2百万円
14 下水道汚泥処理事業特別会計	155	155	-	0	119	601	574	-	法非適用企業
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				2,994		14,763	13,194		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 岐阜県市町村退職手当組合	11,828	11,662	166	166	3,340	-	-	基金繰入3,340百万円
2 岐阜県市町村会館組合	66	64	1	1	-	-	-	
3 飛騨農業共済事務組合	644	625	19	704	-	-	-	法適用
4 古川国府給食センター利用組合(一般会計分)	195	195	-	-	-	256	167	
5 古川国府給食センタ―利用組合(特別会計分)	140	140	-	-	-	-	-	
6 岐阜県後期高齢者医療広域連合(一般会計分)	281	243	38	38	26	-	-	基金繰入26百万円
7 岐阜県後期高齢者医療広域連合(特別会計分)	213,454	206,156	7,298	7,298	1,507	-	-	基金繰入1,481百万円
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				8,207		256	167	

8,847,333 14.7

14.9

9,550,990

12.8

13.9

(C)-(D)

(単年度)

(3ヵ年平均)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

8,986,044

14.5

15.1

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産

平成24年度

当該団体 からの 補助金

岐阜県飛騨市

	飛騨市土地開発公社 株式会社季古里	2 ▲ 12	142		15	-	-	-	-	
	株式会社ねっとかわい	1	123	72	-	-	-	-	-	
ŀ	株式会社飛騨まんが王国	▲ 28	52	73	9	-	-	-	-	
i										
-										
)										
1										
2										
1										
5										
5										
7										
3										
9										
1										
2										
3										
1										
5										
3										
3										
9										
ı										
2										
3										
5										
6										
,										
3										
)										
)										
_										
3										
1										
5										
3										
7										
9										
,										
1										
2										
3										
_										
5										
7										
3										
-										
-										
,										
3										
_										
5										
3										
3										
9										
0										
1										
2										
	方公社・第三セクター等 也方公共団体が①25%以上出資している	** 1 = : : =	17h-t-1	158	24	-	-	-	-	
	か ちょくき エロロイギ カン(1)25% じょ ト 田 巻し ブーンス	プテ 人 又 は(2)肚	∧IM ♥ 揺を行り	っている法人を	*記載している	٥.				

公	責費負担の状況					将来負担の)状況										
	実質公債費比率 (千	円・%)								4	将来負担比率	(千円・9	6)				
	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比		区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比		内訳	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比
元	利償還金	2,809,313	2,667,586	2,642,503	27.7	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	23,947,267	23,444,008	24,117,320	252.5	PFI事	業に係るもの	-	-	-	
减	責基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	414,745	360,456	305,840	3.2	いわら	る五省協定等に係るもの	-	-	-	
準	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	14,340,825	13,898,417	13,192,885	138.1	国営士	地改良事業に係るもの	-	-	-	
元	公営企業債の元利償還金口対する繰入金	918,740	1,001,204	993,525	10.4		組合等負担等見込額	198,135	182,391	166,511	1.7	債 森林総	合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	
村僧	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	17,412	17,412	17,412	0.2		退職手当負担見込額	3,082,395	3,031,085	3,011,097	31.5	負 地方公	・務員等共済組合に係るもの	-	-	-	
70.0	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	62,960	61,541	60,826	0.6		設立法人等の負債額等負担見込額	§ 806	405	40	0.0	担依頼力	:地の買い戻しに係るもの	-	-	-	
金	一時借入金の利子	738	-	-	-		連結実質赤字額	-	-	-	-	行 為 社会社	祉法人の施設建設費に係るもの	265,034	238,570	211,602	2.2
	合計 (A)	3,809,163	3,747,743	3,714,266		1	組合等連結実質赤字額負担見込額	T -	-	-	-	損失补	償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	
	内訳	平成22年度	平成23年度	平成24年度	分母比		合計	(E) 41,984,173	40,916,762	40,793,693		引き受	けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能	充当可能基金	7,706,942	7,869,792	8,993,479	94.2	その化	上記に準ずるもの	149,711	121,886	94,238	1.0
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定歳入	954,473	774,575	721,865	7.6		公共下水道事業特別会計	9,048,560	8,872,805	8,564,503	89.7
债	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額	25,035,581	25,368,830	26,331,993	275.7		農村下水道事業特別会計	2,218,295	2,103,124	1,980,640	20.7
矜	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計	(F) 33,696,996	34,013,197	36,047,337		企業債等 繰入見込額	特定環境保全公共下水道事業特別会計	1,602,437	1,525,854	1,458,241	15.3
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	32,047	31,660	31,629	0.3	将来負担比	上率((E)-(F))/((C)-(D))×100	92.2	78.0	49.6		10×7<70.2210	簡易水道事業特別会計	766,414	736,660	622,612	6.5
行	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-								その他の会計	688,887	647,904	558,278	5.8
為	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-						•		地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	30,913	29,881	29,197	0.3	侹	建全化判断比率 平成24年度	早期健全化基準 財	政再生基準			公社・ 三セク等	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-
	利子補給に係るもの	-	-	-	-	実質	質赤字比率 -	13.06	20.00			-674	その他第三セクター等に係る将来負担額	806	405	40	0.0
特	定財源の額 (B)	117,049	108,897	99,506		連約	吉実質赤字比率 -	18.06	30.00		Ļ		•				
標	集財政規模 (C)	11,375,696	11,185,324	11,945,508		実質	質公債費比率 13.9	25.0	35.0								
算.	入公債費等の額 (D)	2,389,652	2,337,991	2,394,518		将来	来負担比率 49.6	350.0									
,	(C)-(D)	0.006.044	0 0 47 222	0.550.000		1 🗀	,										

(3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

26,512 人(H25.3.31現在) 26,379 人(H25,3,31現在) ち日本人 連結実質赤字比率 792. 31 債費比率 13.9 96 入 20, 281, 540 千円 49.6 % 出 18, 968, 799 I-0 H21 I-0 H22 I-0 Ŧ H20 1,154,843 千円 H23 11.945.508 千円 24, 029, 672 千円

◆ 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

30.0

40.0

18.00 21.00

H20

H20

H21

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登載人口については、外国人住民を含む。

財政力 財政力指数 [0.34] 0.98 0.80 0.60 0.42 0.42 0.40 0.20 0.18 H20 H21 H22 H23 H24

全国平均 岐阜県平均 112/172

い政力指数の分析は

平成24年10月1日時点での高齢化率は33.4%と全国平均24.1%よりも高 齢化が進んでいることに加え、長引く景気の低迷による市税の減収(前年比 98%)などから類似団体を下回る結果となっている。また、中核産業が乏しい ため、安定した財政基盤の確保が難しい状況にある。こうした状況を踏まえ、 第二次総合計画に掲げられた「財政の健全化」を進めるため、毎年行う「長 期財政見通し」の試算を考慮しつつ、将来にわたり持続できる人口規模に見 合った適正な財政規模の実現に努める。



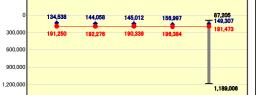
財政構造の弾力性

類似団体内順位 全国平均

近年の地方交付税の伸びにより、類似団体内の平均を下回る水準で推移

しかし、歳入における地方税が伸び悩む中、「長期財政見通し」から将来の 財政状況を把握することにより、将来に備えた効率的な財政運営を構築し、 経常的な経費の圧縮に努める。





1.500.00

少子高齢化と労働者人口の流出などによる深刻な人口減に加え、広範囲 を網羅した行政運営が求められるため、行政関係で3つの振興事務所(支 所)、消防関係で2つの支所を抱えており、人口1人あたりの人件費・物件費 等が類似団体の平均よりも高い水準となる傾向にある。

こうした状況を踏まえ、更なる行政運営の効率化と組織のスリムを進めるこ とにより、健全な財政運営に努める。

平成24年度

岐阜県飛騨市



相似团体内值位 全国平均 岐阜県平均 52/172

財政調整基金を11.1億円積んだこと及び、交付税算定される合併特例債を 大型建設事業に有効活用してきたことにより、将来負担比率が好転する結

今後、基金の積み増しを継続するとともに、施設改修などの大型投資事業 は有利な起債を選択しつつ計画的に進めることにより、将来の負担を軽減す ることに努める。



H23

40.0

16.14

H24



を置公債費比率の分析権

標準財政規模に含まれる普通交付税が増加したことに加え、可能な限り地 方債の発行を抑制してきた結果、年々実質公債費率が低下してきているが、 まだまだ類似団体の平均を上回る状況である。

今後、合併特例期間中に進めてきた大型投資事業に関する地方債の償還 が本格化することに備え、地方債の発行抑制はもとより、交付税の算入率が 高い地方債に発行を絞るなど、実質公債費率の低減に向けた取り組みを進



H22

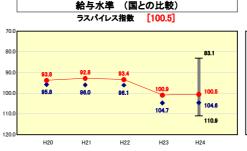
H22



人口千人当たり職員数の分析

市町村合併後、定員数の削減を着実に進めてきているが、人口千人当たり 職員数は類似団体の平均を依然上回っている。とはいえ、面積792.31km(人 口密度が34人/km)かつ集落が点在する山間地の状況において、人口のみ で職員数を単純に比較することは難しい。

しかし、行財政改革を進めるためには、職員数の適正化が重要な要素であ ることから、行政サービスの効率化や組織のスリム化、民間活力の導入によ る事務事業の簡素化を図り、少人数で最大限の効果を上げられるような体



看似团体内值位 全国市平均 全国町村平均 18/172 106.6

国家公務員の給与改定特例法による措置(平成24・25年度)により、特例 法の期間におけるラスパイレス指数は100を超える状況となっているが、特 例措置を除いた参考指数は92.9であり、実質の給与水準は国を下回ってい る。また、県内21市中における給与水準は19位となっている。

しかしながら、硬直化が進む財政運営において人件費の軽減は重要課題 であり、組織の見直し及び定員管理の適正化により人件費の抑制に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

岐阜県飛騨市

岐阜県平均

140

経常収支比率の分析

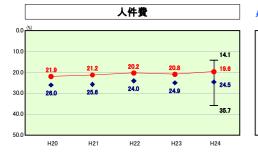
26,512 人(H25.3.31現在) うち日本人 26,379 人(H25.3.31現在) 792.31 km² 20.281.540 千円 出 総 18,968,799 千円 収 1,154,843 千円 11.945.508 千円 24,029,672 千円 地方情现在高

質 赤 宇 比 率 連結実質赤字比率 13.9 % 質公債費比率 来 負 担 比 率 49.6 H20 H23 I-O H21 I-O H22 I-O H24

◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登載人口については、外国人住民を含む。



類似団体内順位 全国平均 岐阜県平均 18/172 23.3

人件費の分析権

人件費に対する経常収支比率は、若干減少傾向にあるとともに、 類似団体の平均を下回っている。このことは、計画(第一次定員適 正化計画、定員適正化推進5か年計画)に基づき、職員数を徐々に 削減した結果の表れといえる。

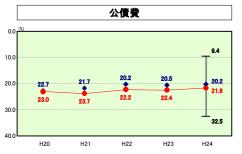
しかし、共済掛け金のかけ率増加などが影響し、定員削減の効果 が大きく表れない状況となっている。



扶助費の分析機

扶助費に対する経常収支比率は、増加傾向にあるものの、類似 団体の平均を大きく下回る水準で推移している。主な要因として、 二世帯同居や地域コミュニティによる助け合いが自然に行われてい ること挙げられる。

全国平均



類似団体内順位 公信誉の分析権

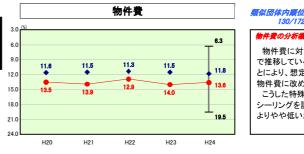
114/172

公債費に対する経常収支比率は、類似団体の平均を若干上回る 状況で推移している。このことは、合併特例期間において優先的に 進めてきた大型投資事業に関する起債の償還が本格化してきたか

188

183

しかしながら、高利率の起債を国の制度を利用して繰上償還した ことや、起債の借入れを精査してきたことにより、実質公債費率を 年々減少させることができた。



物件書の分析機

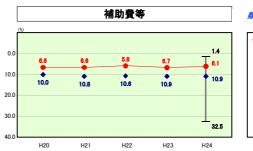
130/172

物件費に対する経常収支比率は、類似団体の平均を上回る水準 で推移している。H23年度から決算統計上の会計区分を見直したこ とにより、想定観光会計で支出していた指定管理料を普通会計の 物件費に改めたため、経常収支比率が悪化してしまった。

全国平均

133

こうした特殊な要因があったものの、近年、予算編成時にマイナス シーリングを設定して経常経費削減に努めているため、岐阜県平均 よりやや低い水準まで盛り返している。



類似団体内順位 31/172

全国平均

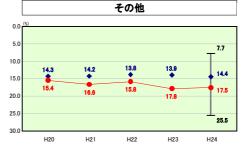
14.2

RQ 1

補助費等の分析権

補助費に対する経常収支比率は、類似団体の平均を大きく下回 る水準で推移している。

第二次行政改革において、H22年度から新たなガイドラインを設け、 市の単独補助金を見直したことにより、補助金の適切な交付と補助 事業の目的に沿った事業実施が可能となった。



類似团体内層位 142/172

その他に対する経常収支比率は、類似団体の平均を上回る水準 で推移し、近年、悪化の方向で差が開きつつある。特に除雪経費は 財政運営を圧迫する要因の一つであり、維持補修費の7割近くを占 める状況にある。さらに、特別会計への繰出金に関しては、毎年増 加の傾向にあることから、厳しい財政運営を強いられており、特別 会計の赤字補てんの圧縮が重要課題となっている。

全国平均



H22

H23

公信誉以外の分析機

12/172

85.6

H24

公債費以外に対する経常収支比率は、類似団体内順位の上位に 位置している。しかし、少子高齢化の進展によって扶助費が増加の 傾向にあることや、除雪経費が維持補修費の大半を占める状況に あることは、財政運営を圧迫する要因として注意が必要である。

全国平均

71.9

健全な財政運営を維持するため、更なる事務事業の効率化や節 減を心がけ、第二次総合計画に掲げられた「財政の健全化」の実現 に努める。

90.0

H20

H21

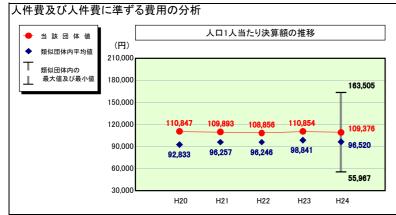
2, 899, 765

109, 376

96, 520

13. 3

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



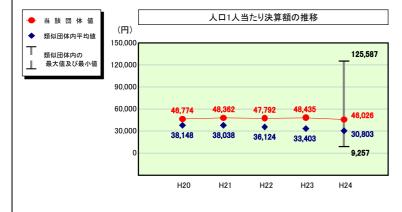
人件費及び人件費に準ずる費用				
	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	2, 381, 223	89, 817	84, 869	5. 8
賃金(物件費)	298, 233	11, 249	6, 996	60.8
一部事務組合負担金(補助費等)	57, 628	2, 174	8, 876	▲ 75. 5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	101, 164	3, 816	780	389. 2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	ı	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	169, 113	6, 379	3, 514	81. 5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	126, 155	4, 758	1, 798	164. 6
▲退職金	▲ 233 751	▲ 8 817	▲ 10.311	▲ 14 5

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12. 07	9. 40	2. 67
ラスパイレス指数	100. 5	104. 6	▲ 4.1

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登載人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

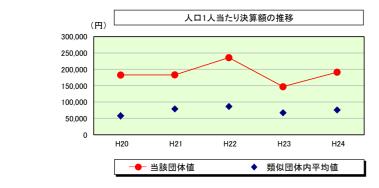
合計

公債費及び公債費に準ずる費用の分析



	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2, 642, 503	99, 672	65, 313	52. 6
責立不足額を考慮して算定した額	=	-		=
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	1	1	41	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に もてたと認められる繰入金	993, 525	37, 475	17, 399	115. 4
- 部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 甫助金又は負担金	17, 412	657	3, 541	▲ 81.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	60, 826	2, 294	1, 662	38. 0
-時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)		1	10	-
▲特定財源の額	▲ 99, 506	▲ 3, 753	▲ 4, 386	▲ 14.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2, 394, 518	▲ 90, 318	▲ 52, 776	71. 1
S計	1, 220, 242	46, 026	30, 803	49. 4

(参考) 普通建設事業費の分析



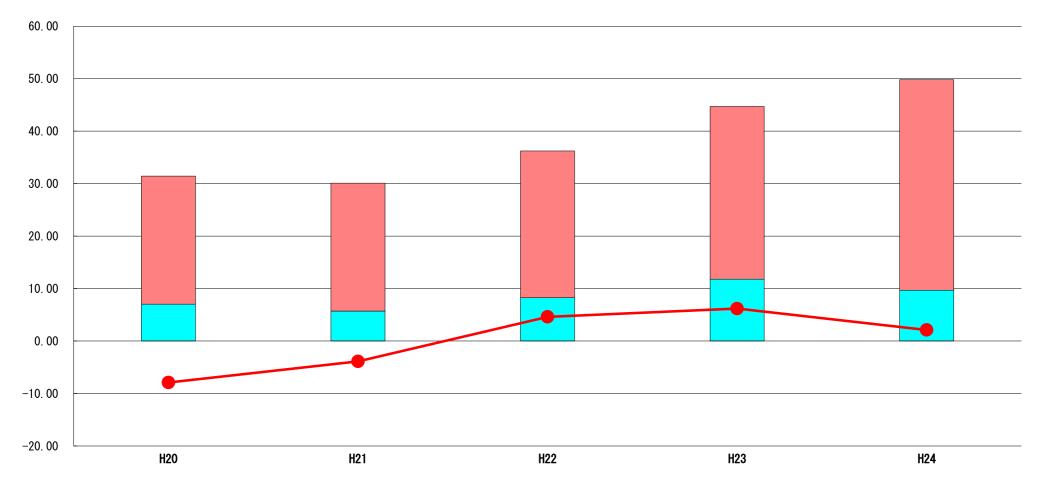
普通建設事業費										
		当該団体決算額	本決算額 人口1人当たり決算額							
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)			
H20		5, 129, 503	182, 649	6. 1	57, 848	2. 9	3. 2			
	うち単独分	2, 297, 635	81, 813	▲ 15. 2	33, 469	3. 8	▲ 19.0			
H21		5, 074, 163	183, 084	0. 2	79, 008	36. 6	▲ 36. 4			
	うち単独分	2, 671, 163	96, 380	17. 8	46, 014	37. 5	▲ 19.7			
H22		6, 425, 944	235, 789	28. 8	86, 381	9. 3	19. 5			
	うち単独分	1, 530, 896	56, 173	▲ 41.7	41, 242	▲ 10.4	▲ 31.3			
H23		3, 946, 569	146, 942	▲ 37.7	67, 201	▲ 22. 2	▲ 15.5			
	うち単独分	1, 775, 294	66, 099	17. 7	35, 210	▲ 14.6	32. 3			
H24		5, 070, 842	191, 266	30. 2	75, 709	12. 7	17. 5			
	うち単独分	2, 300, 954	86, 789	31. 3	35, 212	0. 0	31. 3			
過去5年間平均		5, 129, 404	187, 946	5. 5	73, 229	7. 9	▲ 2.4			
	うち単独分	2, 115, 188	77, 451	2. 0	38, 229	3. 3	▲ 1.3			

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成24年度

岐阜県飛騨市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分 年度	H20	H21	H22	H23	H24
財政調整基金残高	24. 44	24. 38	27. 98	32. 92	40. 15
実質収支額	7. 01	5. 72	8. 25	11. 78	9. 67
—— 実質単年度収支	▲ 7.91	▲ 3.90	4. 61	6. 17	2. 11

分析欄

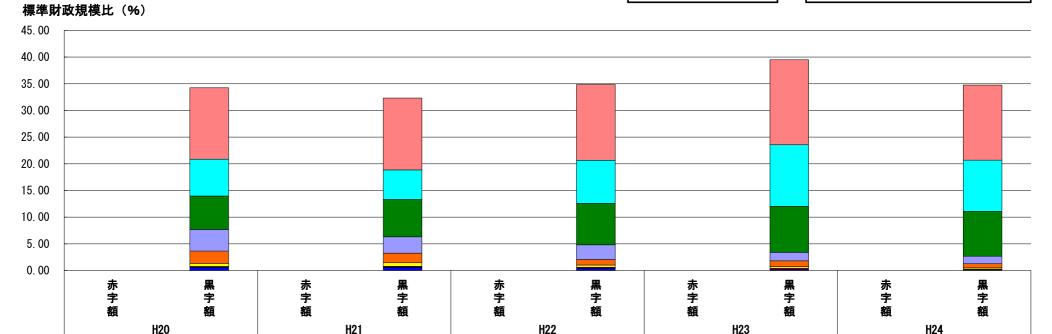
国の経済対策による交付金事業などにより、事業の財源確保ができたこと及び歳出削減を進めた結果、継続して財政調整基金を積み増すことができた。また、実質収支額については、地方交付税の増額もあって、H24年度も10%近い水準を維持することができた。

しかし、合併特例期間終了後は、地方交付税の加算措置が段階 的に無くなるため、将来を見据えた計画的な事業実施と行財政改

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成24年度

岐阜県飛騨市



標準財政規模比(%)

年度 会計	H20	H21	H22	H23	H24
国民健康保険病院事業会計	13. 39	13. 45	14. 17	15. 92	14. 07
一般会計	6. 90	5. 56	8. 08	11. 51	9. 60
水道事業会計	6. 26	7. 00	7. 77	8. 64	8. 38
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	4. 07	3. 05	2. 76	1. 60	1. 41
介護保険特別会計(保険勘定)	2. 30	1. 81	1. 02	1. 08	0. 79
公共下水道事業特別会計	0. 56	0. 64	0. 43	0. 29	0. 24
情報施設特別会計	0. 11	0. 16	0. 16	0. 27	0. 07
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	0. 11	0. 10	0. 04	0. 05	0. 05
その他会計(赤字)	-	-	-	-	-
その他会計(黒字)	0. 55	0. 54	0. 40	0. 12	0. 13

分析欄

一般会計からの基準内外の繰出しを行っているため、全ての会計 において黒字であり、実質赤字比率はない。

しかし、病院事業会計では医師不足、下水道関係では公債費の大半を繰入金に依存している状況、国民健康保険や介護保険関係では高齢化の進展によるサービス利用者の増加など、不安要素を抱えた中での財政運営となっており、一般会計からの繰出しを減らすことが求められる。

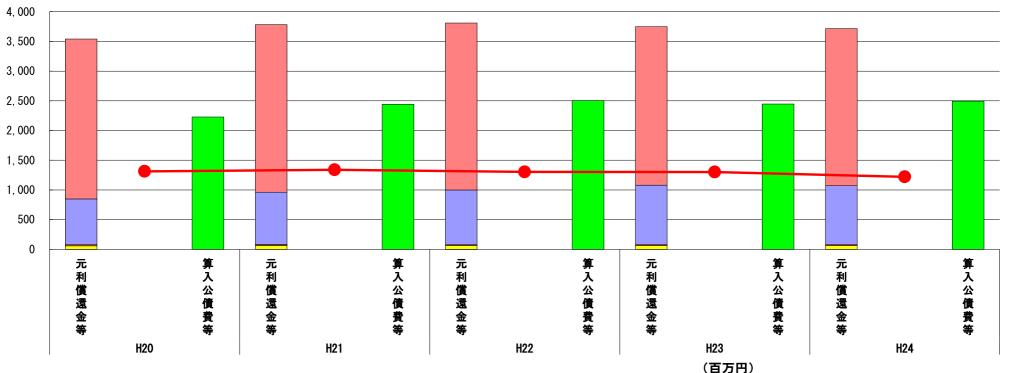
今後、事業収益や利用料収益の確保の他、経常経費の圧縮に努め、特に下水道関係においては、施設の長寿命化を進めることにより将来の大規模修繕費の抑制を図る。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成24年度

岐阜県飛騨市

(百万円)



年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金	2, 692	2, 820	2, 809	2, 668	2, 643
減債基金積立不足算定額	-	_	_	_	_
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	_	_	_	_
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	772	881	919	1, 001	994
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	17	17	17	17	17
債務負担行為に基づく支出額	60	64	63	62	61
一時借入金の利子	-	-	1	_	_
算入公債費等	2, 228	2, 442	2, 506	2, 446	2, 494
実質公債費比率の分子	1, 313	1, 340	1, 303	1, 302	1, 221
	元利償還金 減債基金積立不足算定額 満期一括償還地方債に係る年度割相当額 公営企業債の元利償還金に対する繰入金 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等 債務負担行為に基づく支出額 一時借入金の利子 算入公債費等	元利償還金 2,692 減債基金積立不足算定額 - 満期一括償還地方債に係る年度割相当額 - 公営企業債の元利償還金に対する繰入金 772 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等 17 債務負担行為に基づく支出額 60 一時借入金の利子 - 算入公債費等 2,228	元利償還金 2,692 2,820 減債基金積立不足算定額 満期一括償還地方債に係る年度割相当額	元利償還金 2,692 2,820 2,809 減債基金積立不足算定額	元利償還金 2,692 2,820 2,809 2,668 減債基金積立不足算定額

分析欄

元利償還金と公営企業債の元利償還金に対する繰入金が減少したことと、算入公債費が増えたことにより、実質公債費比率の分子は近年減少傾向にある。

また、地方債の発行抑制や国の制度を利用 して高利率の起債を繰り上げ償還した結果、 元利償還金を着実に減少させることができ た。

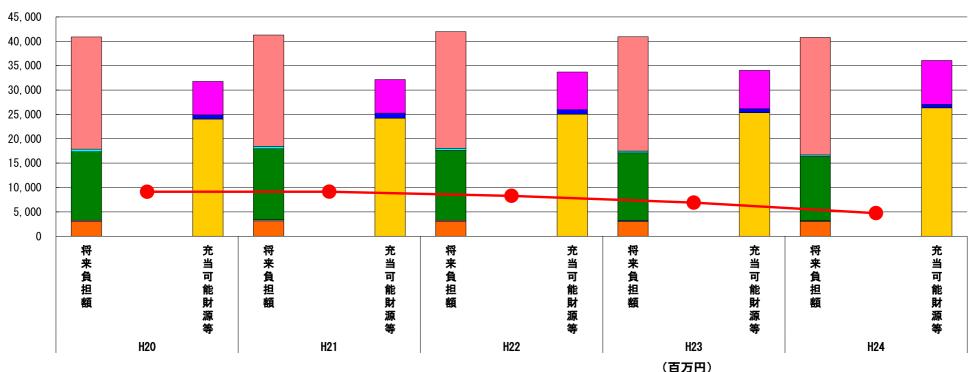
- ※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。
- ※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。
- ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成24年度

岐阜県飛騨市

(百万円)



						(11/2) 1/
分子の構造	年月	₹ H20	H21	H22	H23	H24
	一般会計等に係る地方債の現在高	23, 018	22, 853	23, 947	23, 444	24, 117
	債務負担行為に基づく支出予定額	524	469	415	360	306
	公営企業債等繰入見込額	14, 027	14, 585	14, 341	13, 898	13, 193
	組合等負担等見込額	229	214	198	182	167
将来負担額(A)	退職手当負担見込額	3, 074	3, 167	3, 082	3, 031	3, 011
	設立法人等の負債額等負担見込額	2	2	1	0	0
	連結実質赤字額	-	-	-	1	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	1	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金	6, 864	6, 906	7, 707	7, 870	8, 993
	充当可能特定歳入	835	1, 044	954	775	722
	基準財政需要額算入見込額	24, 057	24, 201	25, 036	25, 369	26, 332
(A) — (B)	将来負担比率の分子	9, 118	9, 138	8, 287	6, 904	4, 746

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は増加しているものの、公営企業等おける繰り上げ償還などにより、将来負担額の全体は減少傾向にある。

また、交付税に算入される有利な地方債を選択してきたことや、財政調整基金の積み増しを 行ってきた結果、将来に備えた充当可能財源等 が年々増加している。

こうしたことから、将来負担比率は類似団体 と比較して低い水準を維持している。

[※]平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。